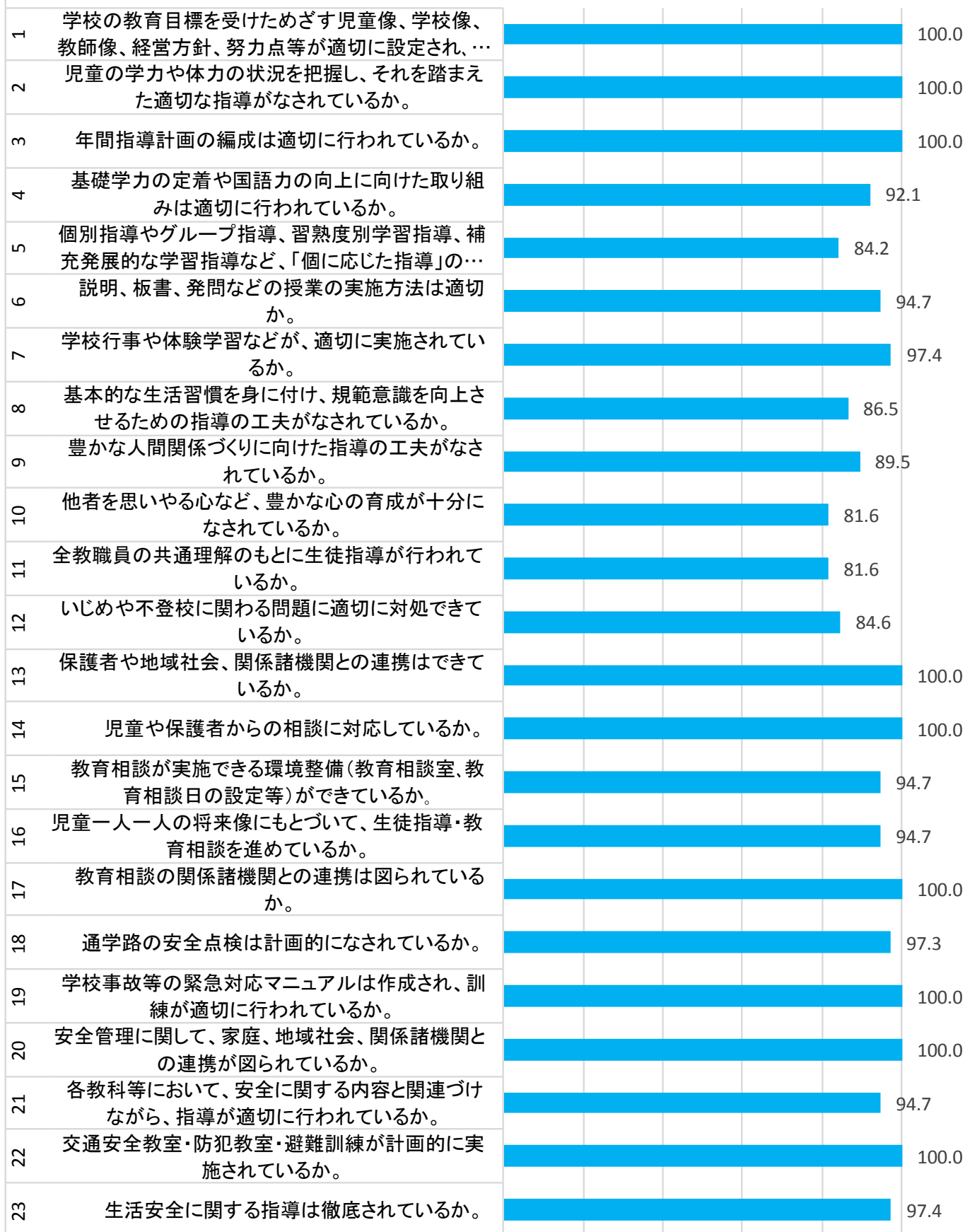


平成28年 学校評価集計結果(2016/12/26)

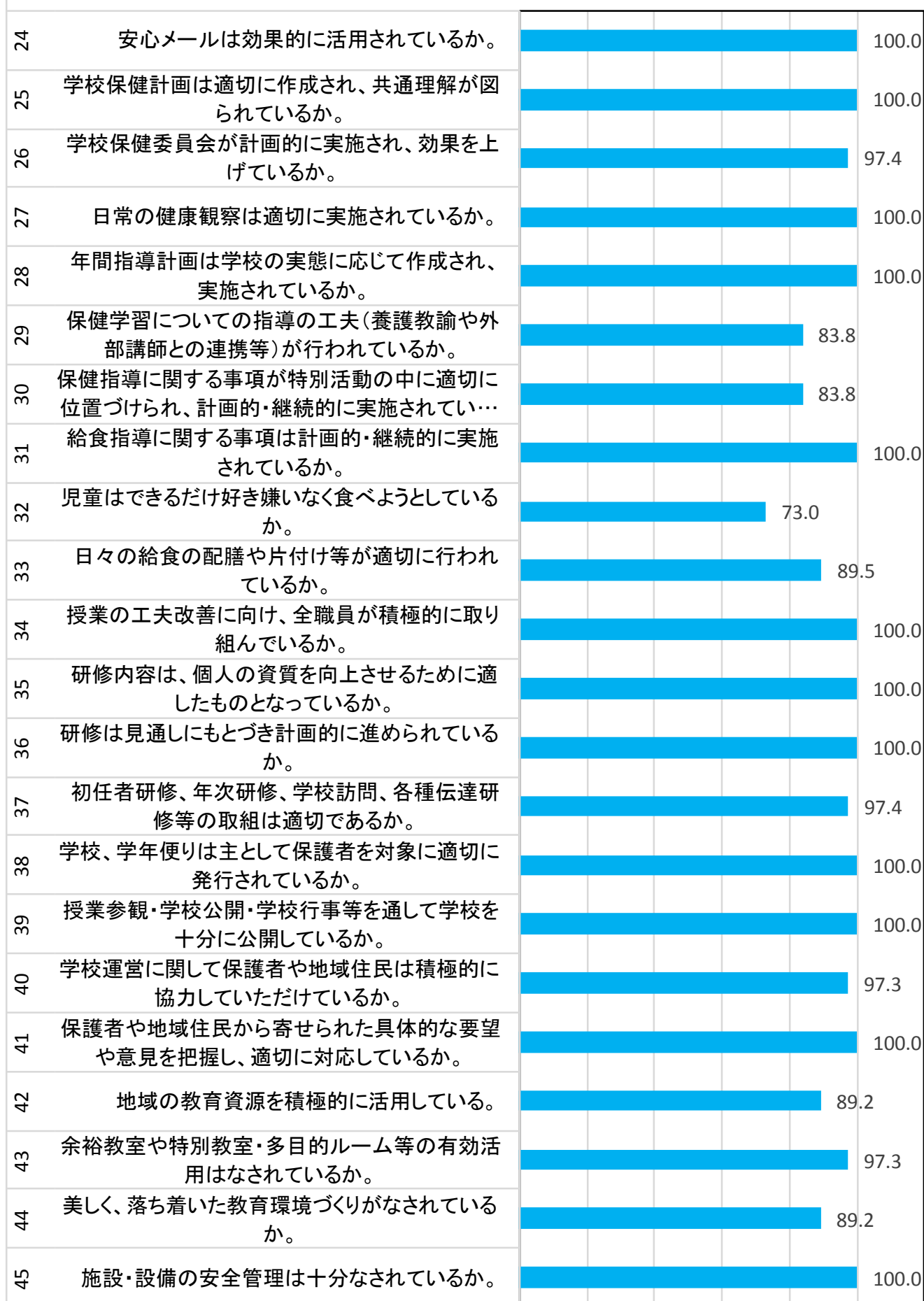
教職員(A評価、B評価の合計)

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

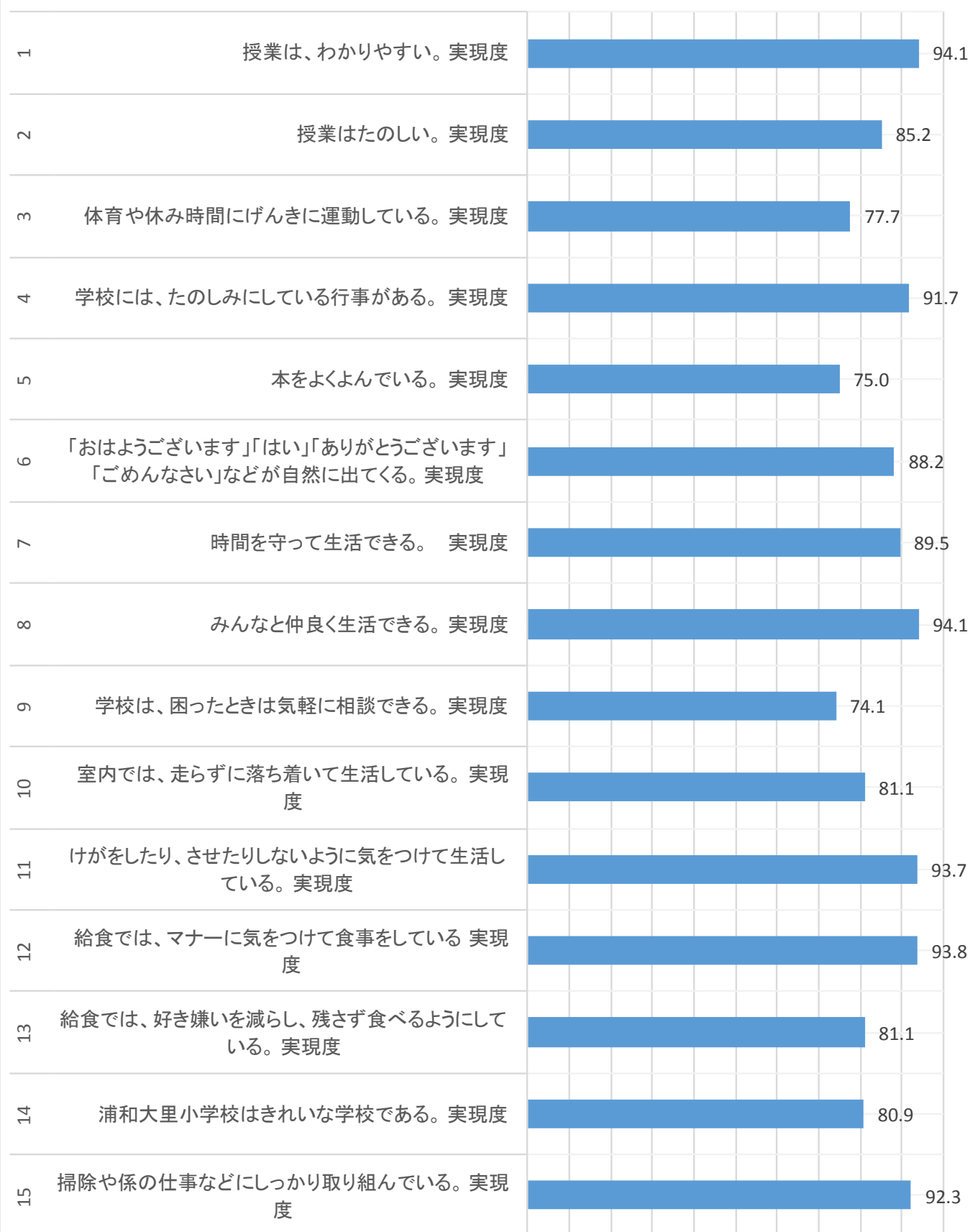


## 教職員(A評価、B評価の合計)

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 120.0

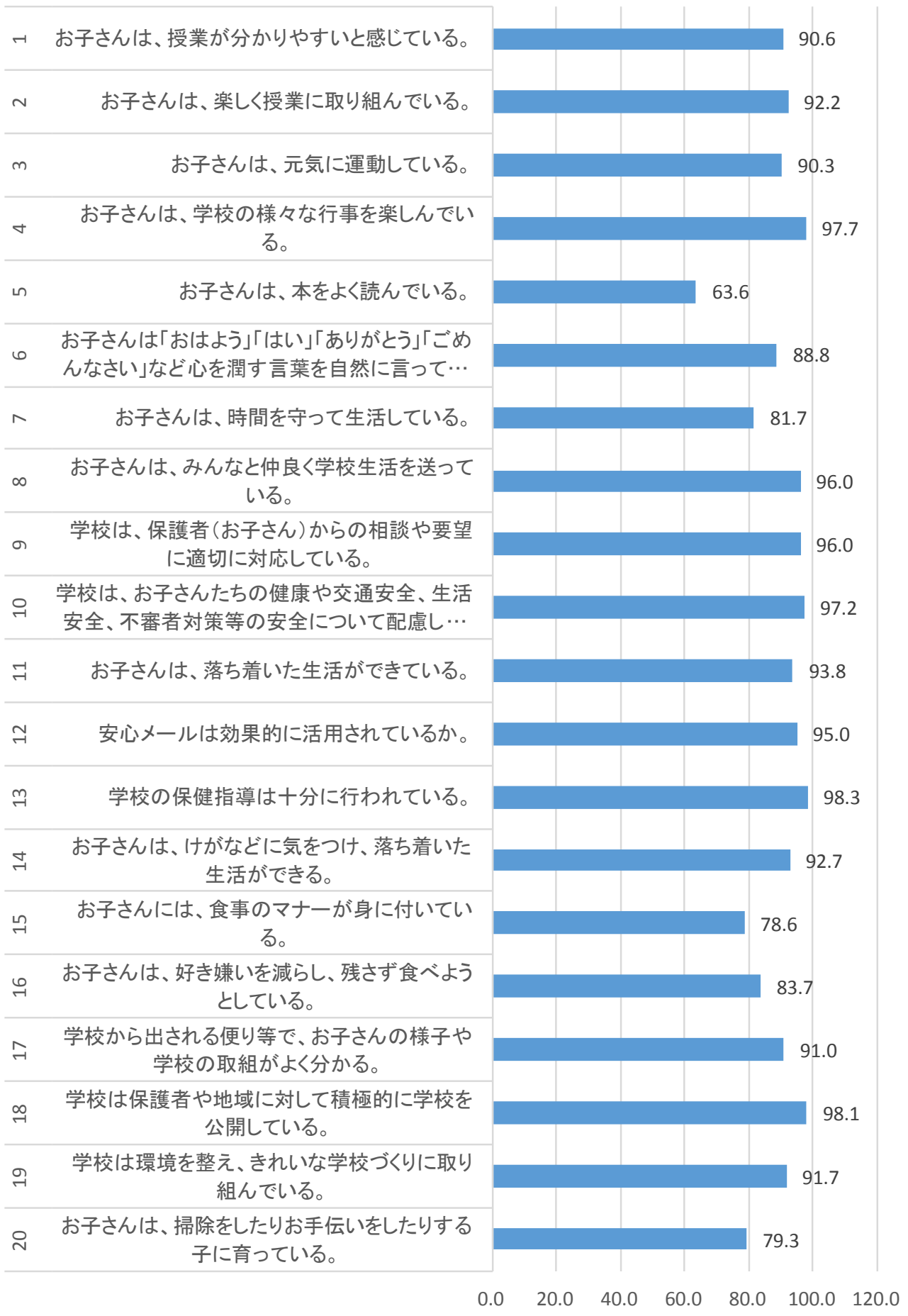


## 児童 ABの合計



0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

## 保護者ABの合計



# 平成28年度 さいたま市立浦和大里小学校 自己評価書

さいたま市立浦和大里小学校

校長 益子 聡

## 1 学校の教育活動について

この1年本校では、学校教育目標「夢と希望をもち、人間性豊かで心身ともにたくましい子の育成」の具現化に向け、以下の経営理念にもとづき教育活動を進めてきた。

### (1) 【浦和大里小の教職員一人ひとりの心の豊かさを追求する】

- ① 仕事に対する誇り、働きがい、生きがいといった人間の心の豊かさを求めていく。
- ② 心を一つにして一致団結し、子どもたちや保護者に最高の教育を提供できるよう、努力をしていく。

### (2) 【児童・保護者に、最高の教育〈①教育環境と②教育サービス〉を提供する】

- ① 教育環境
  - a) 美しいと直感できる快適な環境を提供すること b) 施設設備が整った物による安全な環境を提供すること c) 教職員自身による人としての心豊かな環境を提供すること
- ② 教育サービス  
優先第1位) 【安心・安全】子どもの不安を取り除き、安らぎを感じる空間を作り上げるために、安全が保障された安心な学校を作り出す。優先第2位) 【礼儀正しさ】相手の立場に立ち、親しみやすく、思いやりをもって本気で対応する。優先第3位) 【姿勢(見られているからこそ、よいものを見せる)】身だしなみや言葉遣い、立ち居振る舞いに誇りをもつ。優先第4位) 【効率】スピーディーにことを運び、子どもや保護者を待たせない。

### (3) 【学校の価値を高め、地域社会に貢献する】

全職員が、努力を重ねて学校の〈力〉を向上させ、地域社会への貢献を行うことにより、地域社会の一員としての責任を果たす。

## 2 教職員及び児童、保護者等による評価結果

### (1) 達成することができた項目

教育課程・学習指導「年間指導計画の適切な実施」、生徒指導「保護者や教育相談関係機関との連携」

### (2) 達成することができなかった項目

生徒指導「他者を思いやる心など、豊かな心の育成」

生徒指導「基本的な生活習慣・規範意識・いじめや不登校に関わる問題への適切な対処」

### (3) 児童の学力・学習状況について(全国学力・学習状況調査結果を活用して)

- ・ 国語A・Bは全国平均より高く、算数A・Bは全国平均よりやや高い。学力調査では良好な結果といえる。今後も、指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実に努めていきたい。

### (4) 教育課程・学習指導について(各教科等の授業にかかわる評価)

- ・ 「基礎学力の定着や国語力の向上に向けた取り組みは適切に行われているか」について「よくできている」と回答した教職員は、平成29年度は92.1%(H27 81.3% H26 81.2%)であり、年々上昇している。児童・保護者の「授業は分かりやすい」「授業は楽しい」の項目も上昇してきたといえることから、学校課題研究を通して、表現力の向上を目指し研究に取り組んできたことの成果と言える。
- ・ 「説明、板書、発問などの授業の実践方法は適切か」について、「よくできている」「だいたいできている」を合わせた教職員の回答は、昨年度96.7%、今年度は94.7%と高い水準を保っている。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策

- ・ 達成することができなかった項目「他者を思いやる心など、豊かな心の育成」は、来年度人権教育への取組を中心として、教育計画全体を通して取り組んでいく。道徳の授業に限らず、全教科や休み時間、保護者への啓発も含めて工夫していきたい。
- ・ 「基本的な生活習慣や規範意識」、「いじめや不登校の問題への適切な対処」では、生徒指導部を中心に共通理解や協議を重ね、全教職員の力を結集して取り組んでいく。
- ・ 校内研修において体育の授業研究を中心に教師の力量を高め児童の表現力向上に取り組んできた。加えて、朝会、児童集会、校内放送等においても聞き手を意識して話すことを児童に指導してきた。今後も発達段階に応じて指導・実践し、児童の表現力向上を図っていきたい。

# 平成28年度 さいたま市立浦和大里小学校 学校関係者評価書

さいたま市立浦和大里小学校  
学校関係者評価委員長 伊藤 温

## 1 学校関係者評価の実施体制

### (1) 構成人数

6 名

### (2) 実施回数

2 回

## 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ・ 外部から見ていて非常に安心感・透明性のある学校である。学校長の経営理念や大里・魂、経営計画、雰囲気づくりには大変共感できる。
- ・ 全体として落ち着いており、課題に対応したり、教師の話を聞いたりすることができている。
- ・ 教職員が発達段階の違う児童に対し上手に対応している。
- ・ 地区内を歩いているとよく子どもたちが挨拶をしてくれる。育成会に参加するようになり驚いた。学校での取組がいきわたっているように見える。皆元気で明るい子どもたちである。
- ・ 児童が、自分のことを思い切って相談するというのは難しいことである。教師・学校だけでなく、地域や親を活用するなどして、うまく引き出せるように工夫していきたい。
- ・ 地域の声を聞くと学校に対する信頼感はかなり高い。学校だよりが地域のレベルを上げている。
- ・ 安心メールを保護者以外に、地域の人への受信できたらよい。不審者情報等、早期に知ることにより子どもたちの安全に見守ることができる。

## 学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・ 今後も、児童が安心して学校生活を送れるようにするために、教育相談体制の一層の充実を図っていく。地域や保護者の協力をどのように得ていくかを検討していく。
- ・ 防犯・交通安全については、児童への教育、学校としての自助努力のほか、PTA と連携しながら安心安全の確保に努めている。今後も警察・くらし応援室との連携を密に進めていきたい。

さいたま市立浦和大里小学校長 益子 聡